

教育研究業績書記入上の注意事項

この書類は、教育上の能力に関する事項、職務上の実績に関する事項及び主要な著書、学術論文等の業績について作成してください。

(1) 「研究分野」及び「研究内容のキーワード」

「研究分野」の欄には、科学研究費補助金応募の際に利用する「審査区分表」の小区分レベルの名称を用いて、研究分野の主なものを1つ以上3つ以内で記入してください。「研究内容のキーワード」の欄には、同表の小区分に付随する内容の例を参考に、研究内容を表すキーワードを1つ以上5つ以内で記入してください。なお、小区分レベルに該当がない場合は、表中のワードを参考に適宜記入してください。科学研究費補助金の「審査区分表」については、以下の日本学術振興会のWebページを参照してください。

【https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02_koubo/shinsakubun.html】

(2) 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」の欄について

- ・各区分に該当する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。
- ・「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を西暦で記入してください。
- ・「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。
- ・なお、各項目について特記事項のない場合は、「特記事項なし」と記入してください。

(3) 教育上の能力に関する事項

1 教育方法の実践例

大学・短期大学・大学院などの高等教育機関において授業科目を担当している教員が、学生の理解を図るため、工夫を凝らした分かりやすい授業を実施している場合、その内容

(例) ・ICT等を活用した授業方法

- ・学生の授業外における学習効果促進のための取組
- ・授業内容のWEB上での公開

2 作成した教科書、教材

学生の理解を図るために作成し、大学での授業などにおいて活用している教科書や教材等

3 教育上の能力に関する大学等の評価

学生の理解を図るために行っている教育上の取組（大学での授業などを通じた取組）に対して、大学等から特に高い評価を受けたもの

(例) ・各大学における自己点検・自己評価での評価結果

- ・学生による授業評価（FD アンケート）の結果、教員相互による評価結果

4 実務の経験を有する者についての特記事項

学校現場等での教育に関する取組の中で学生の理解を図ることに資するもの

- (例)・幼稚園、小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校での教育実績（出前講座など）
- ・大学から受け入れた教育実習生等に対する指導

5 その他

学生の理解を図るために行っている取組のうち、上記に該当しないもの

- (例)・大学教育改善に関する団体等での活動の概要教育研究業績書（研究活動）について

(4) 職務上の実績に関する事項

1 資格、免許

担当授業科目と関連のある教員免許等の資格、免許等を有している場合は記入してください。教員免許状等の資格を記載するに当たっては、その登録番号等も併記してください。

2 特許等

担当授業科目と関連のある特許等を有している場合は記入してください。

3 実務の経験を有する者についての特記事項

学校現場等での教育に関する取組の中で担当授業科目と関連のあるものがあれば記入してください。

- (例)・研究指定校での教育課程の研究開発
- ・教員を対象とした研修等の講師の経験
 - ・教育委員や学校評議会の委員等の経験

4 その他

担当授業科目と関連のある職務上の実績のうち、上記に該当しないものを記入してください。

(5) 研究業績等に関する事項

- ・「研究業績等に関する事項」には、書類提出時において未発表のものは記入できません。ただし、未発行（未掲載）ではあるが、論文が採録決定済みであり、採録決定通知（写）を提出できる場合には、当該通知を添付した上で記入いただくことは可能です。
- ・「著書、学術論文等の名称」欄は、各担当授業科目に関連する研究業績について、（著書）、（学術論文）、（その他）項目に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。
- ・（著書）については、出版社を通して流通し、書店などにおいて販売されている書籍の書名を記入してください。
- ・（学術論文）については、国際学術雑誌、学会機関紙、研究報告、紀要等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文、査読付き論文、その他の論文に区分して記入してください。学位論文についてはその旨（修士論文、博士論文、など）明記し、査読付きの論文については、題名の後に「(査読付)」と記載してください。
- ・（その他）については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。

- ・「単著・共著」欄は、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。

(一冊の本を数人で執筆した場合は、当該部分が単著であっても、共著として記入してください。)

- ・「発行又は発表の年月」欄は、当該著書等の発行又は発表の年月を西暦で記入してください。
- ・「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」欄は、(著書)の場合は出版社を、(学術論文)(その他)の場合は掲載媒体の名称(巻・号を含む。)を正確に記入してください。
- ・「概要」欄には、著書等の内容を200字程度の日本語で記入してください。
- ・当該著書等が共著の場合には、本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページ(例. p〇〇~p〇〇)を記入するとともに、本人の氏名(下線を付すこと。)を含め著作者全員の氏名(多数にわたる場合は主要な共著者の氏名)を当該著書等に記載された順に記入してください。(例. 編者△△△△、分担執筆〇〇〇〇、□□□□、××××) また、本人の担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入してください。(例. 「共同研究により担当部分抽出不可能」など)

※この書類に含まれる個人情報、採用及びその選考以外の目的には利用いたしません。